

いずもぎき

議会だより

第80号

2013

平成25年7月23日



6月定例会

もくじ

- ・ 決定!! 新議会人事 2~3
- ・ 平成24年度補正予算 4
- ・ 平成25年度補正予算 5
- ・ 予算審査、全員協議会 6
- ・ 一般質問 7
- ・ 町民の声「健康一番」 10

海開き(サザエのつかみ取り)

決定!! 新議会人事構成

議長 山崎 信義

副議長 三輪 正



③三輪 正 ⑦加藤 修三 ⑤田中 政孝 ③中川 正弘 ①宮下 孝幸



⑩山崎 信義 ⑧諸橋 和史 ⑥仙海 直樹 ④高桑 佳子 ②中野 勝正

(議席順)

就任のごあいさつ

議長 山崎 信義

このたび、6月臨時会にて、議会基本条例施行に伴う初の議長選挙で、不肖、私が当選人となりました。

私にとりまして、限らない光栄であり、その職責の重さに身の引きしまる思いであります。

「天下の憂いに先立ちて憂い、天下の楽しみに後れて楽しむ」という中国のことわざや、地方議会活性化研究会の答申もあります。

すなわち、議員の心構えとして住民全体の利益のため、法令に基づいて公平にその権限を行使すべき厳しい立場にある。社会や住民のことを第一に考え、自分個人のことは後回しにして、利害には目を向けないようにと示されております。

社会、経済情勢などから生じる行政課題に対し、町民目線で、誠心誠意、議会運営に努めてまいります。

町民の皆さまの一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

	総務文教常任委員会	社会産業常任委員会	議会運営委員会
委員長	仙海 直樹	諸橋 和史	宮下 孝幸
副委員長	高桑 佳子	田中 政孝	仙海 直樹
委員	中川 正弘	中野 勝正	田中 政孝
委員	宮下 孝幸	加藤 修三	諸橋 和史
委員	山崎 信義	三輪 正	

6月臨時会

(会期 6月10日 1日間)

本臨時議会では、6月8日施行の出雲崎町議会基本条例に基づき、議長の選出は志願者三名の所信表明後、投票にて決定いたしました。また、各委員会の構成や正副委員長の決定も行われました。



議会報特別委員会	
委員長	三輪 正
副委員長	仙海 直樹
委員	加藤 修三
委員	高桑 佳子

○農業委員会委員 中野 勝正
○監査委員(6月定例会にて決定) 中川 正弘
○新潟県後期高齢者医療 広域連合議会議員 諸橋 和史

議会のしずみや (主なもの)

(平成25年4月～6月)

- 4・10 議会報特別委員会 (議会だより第79号)
- 15 議会報特別委員会 (議会だより第79号)
- 22 第4回全員協議会
- 5・2 エコパークいずもぎき視察
- 7 議会運営委員会
- 14 第2回臨時会
- 14 社会産業常任委員会
- 14 町議会議員選挙告示日
- 23 初当選議員研修会
- 28 第38回議長・副議長研修会 (東京都)
- 31 当選議員打合せ会
- 6 第3回臨時会
- 18 議会運営委員会
- 14 議会運営委員会
- 10 6月定例会招集日
- 18 社会産業常任委員会
- 18 総務文教常任委員会
- 19 議会報特別委員会 (議会だより第80号)
- 19 6月定例会2日目 (一般質問)
- 19 予算審査特別委員会
- 21 第5回全員協議会
- 21 議会運営委員会
- 21 6月定例会最終日
- 25 第6回全員協議会
- 25 県町村議会議長会臨時総会 (粟島浦村)
- 25 議会報特別委員会 (議会だより第80号)

5 月 臨 時 会

(会期 5月7日 1日間)

平成24年度一般会計補正予算(第8号)(専決)

会 計	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計(第8号)(専決)	7835万円	35億6572万円

主 な 歳 出

- (△印は減額)
- ・ 財政調整基金積立..... 8900万円
 - ・ 町保育所通園バス運行事業
補助金減..... △ 130万円
 - ・ 町障がい児保育事業補助金減..... △ 300万円

平成25年度一般会計補正予算(第1号)

会 計	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計(第1号)	412万円	32億5712万円

主 な 歳 出

- ・ 全国瞬時警報システム多様化工事..... 401万円
(災害時にJアラートでの通報内容を携帯メールで配信するもの)

臨時会では平成24年度一般会計補正予算(第8号)(専決)、平成25年度一般会計補正予算(第1号)や、条例の一部改正など議案6件が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決・承認しました。



大規模災害時には国から直接放送されます

可決した条例改正など

主なもの

◆ 町条例の一部改正
 ・ 地方税法等の一部を改正する法律の施行により、個人の町民税に係る寄付金税額控除の特例措置や、住宅借入金特別税額控除の適用期限延長に関する規定の整備などの改正。

◆ 町国民健康保険条例の一部改正
 ・ 地方税法等の一部を改正する法律の施行により、国保加入の被保険者が後期高齢者医療に移行した場合の特定世帯において、3年間に限り平等割額の4分の1を新たに軽減するための改正。

◆ 町重度心身障がい者医療費助成に関する条例の一部改正
 ・ 県単医療費助成の一部改正に伴い、訪問看護を利用した際、医療費の助成方法を償還払い方式から現物給付方式に改正。

議会からのお知らせ

・ 本年6月8日より施行された議会基本条例により、町民の皆さまと議員が懇談を行う会議を設置しました。町民の皆さまの申込みにより、議員がうかがい意見交換を行うものです。くわしくは議会事務局へお問い合わせください。



6月定例会

(会期 6月18日～21日 4日間)

会計		補正額	補正後の予算額
一般会計(第2号)		1億3423万円	33億9135万円
特別会計	簡易水道事業(第1号)	2721万円	2億391万円
	下水道事業(第1号)	49万円	1億7709万円

定例会では平成25年度一般会計及び特別会計補正予算や条例の制定など、議案8件が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決・同意しました。

一般会計補正予算(第2号)

主な歳出

- ・ 出会いサポート事業委託料 …………… 70万円
(婚活事業に伴うもの)
- ・ コミュニティ助成事業補助金……………250万円
(住吉町獅子頭など)
- ・ 風しん予防接種助成 ………………30万円
(接種費用の3分の2を助成)
- ・ 道路新設改良舗装工事追加 ……………7130万円
(仏長線、山谷相田線ほか)
- ・ 橋りょう維持修繕工事(塗装)追加…… 500万円
(下小竹、船橋地内)

特別会計補正予算

簡易水道事業(第1号)

主な歳出

- ・ 管路工事追加 ………………700万円
(水道管の更新、大釜谷地内)
- ・ 浄水場実施設計業務委託料 ……………850万円
(大釜谷地内)
- ・ 浄水場整備工事 ………………500万円
(小木地内)

下水道事業(第1号)

- ・ 一般管理費 ……………… 49万円
(人事異動によるもの)



修繕予定の橋(下小竹地内)

可決した条例改正など

主なもの

◆ 出雲崎地域の元気臨時交付基金金条例制定
 ・ 平成25年度、国の補正予算により交付された6,123万円のうち、2,130万円を積み立て、平成26年度事業にまで執行を可能にするための基金を設置するもの。

◆ 町国民健康保険税条例の一部改正
 ・ 本年度、国保運営のための保険税の賦課額に関して、医療給付、介護給付の伸びと被保険者数や世帯数の減少、課税基準となる全体の所得額の減少により基礎課税分と介護納付金分の按分率を上げるための改正。

予算審査特別委員会



質疑

6月定例会において、一般会計及び特別会計は予算審査特別委員会に付託して審議しました。

主な質疑

出会いサポート事業

70万円

問 婚活事業参加者の対象年齢と事業内容は。

答 役場の独身職員によるプロジェクトチームを立ち上げて、検討を行っています。20代〜30代の本町の独身男性を予定し、事前セミナーにも力を入れる予定です。

問 事業継続について単年ではなく続けていただきたい。

答 今回の内容を見ながら進めたい。

中山間地域総合整備事業 新規採択申請地形図 作成業務委託料(八手地区)

480万円

問 予算額480万円の内訳は

答 1000分の1の航空写真地形図の作成です。

風しん予防接種助成

30万円

問 接種済の対象者にはさかのぼって助成をしますか。

答 平成25年度中の接種は助成対象になります。対象者は妊娠を予定している女性とその夫、家族です。



全員協議会

主な質疑について報告いたします。

第4回 4月22日開催

◎Jアラート多様化推進事業について

総務課長 Jアラートについては、国から25年度の予算で行う旨の通知がありました。

議員 災害時、即座に携帯に連絡が入るといことですが、町内では携帯電話のどかない地域があります。緊急時に機能しないのでは困るので、圏外エリアの解消を要望してもらいたい。

第5回 6月19日開催

◎町税に係る延滞金徴収の状況について

町長 上越市で介護保険料に係る延滞金徴収の放置について報道があり、当町の調査を指示したところ、平成5年度〜24年度で約1,990万円の延滞金の未収が判明しまし

た。大変申し訳なく町民の皆さまにお詫びいたします。

町民課長 本町においては延滞金の減免措置基準がなく、今後、他の自治体等を参照して早急に検討してまいります。

議員 延滞金の徴収は税金であるので年度で把握するべきではないか。今後はチェック体制の構築を急いでほしい。

第6回 6月21日開催

◎子宮頸がん予防ワクチンの接種について

保健福祉課長 国から積極的なワクチン接種を一時中止する旨の通知があり、当町も国の情報を待つて対応します。すでに対象者には通知をしました。

議員 今回の措置で接種を見合わせ、対象年齢外となった場合はどうなりますか。
保健福祉課長 法定接種ですの

で、今後有効性等を考慮したうえで、法改正により年齢が引き上げられれば、それにならうものと考えられます。

◎庁舎の節電について

議員 町民が庁舎にいる際、昼休みにかかって消灯され、不快な思いをしたと聞きます。

町長 節電は必要であり規則としているので、今後来庁されている方におことわりしたうえで消灯するようにします。ご理解をお願いします。

◎「原発の再稼働」に関するNHKのTV報道について

議員 出雲崎は原発再稼働容認との報道がなされた。どのような経過でそうなったのか。

町長 国の原子力規制委員会が安全を確認した場合、運転を認めるかとのアンケートに対し「エネルギー政策は国策であり、国の責任において安全等の確保ができるのであれば、国の電力事情と地域経済を考慮すべき」との注釈つきで認める旨の回答をしました。

一般質問 おたずねします お答えします



加藤 修三 議員

ピロリ菌除去を

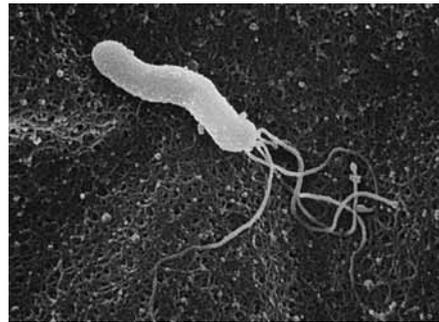
除菌費用に助成は

質問 昨今テレビ等でピロリ菌除去について、見たり聞いたりされたと思いますが、昨年の議会報の中で仙海議員から胃がん予防策として、ピロリ菌除去費用を公費助成できないかの質問に対し、ピロリ菌感染者の胃がん発症率が低い為、国の検討結果を踏まえ対応との事でした。

ピロリ菌除菌の保険適用範囲が2月より拡大されたことで再度ピロリ菌除去の公費助成できないか伺います。

国の検討結果を注視する

答弁 胃炎の段階での除菌は



ピロリ菌

胃がん予防に大きな効果があると言われていますが、ピロリ菌感染胃炎が保険適用となり、除菌治療の範囲が拡大した中、現段階では町独自の除菌費用を助成する必要性は高くないと考えています。今後さらに国の検討結果を注視したいと考えております。

ピロリ菌感染検査

質問 つがる市（青森県）他いくつかの自治体において胃がん予防、胃がん撲滅対策として胃がん検診と併せて、ピロリ菌感染検査を実施し、検査費用を助成しています。国がピロリ菌除菌の保険適用範囲を拡大した本年、いくつかの自治体で実施するところもあります。

答弁 平成21年の厚生労働省の調査では、全国17市町村でピロリ菌抗体検査がオプションとして、ガン検診の中に取り入れられています。当町規模で行うにはガン検診の検査方法や医療機関との連携、基準を定めるなど現段階では難しく、国、県の検討結果を待ち、それを踏まえて実施していく方向で考えています。



ピロリ菌は胃がんの発症率を高めます



仙海直樹 議員

人口増加に向けた対策は

現状をどう考える

質問 本町は年々人口減少が続き、人口の増加は町民の皆さまの大きな願いです。

人口が減少すれば、産業の衰退や地域消費の減退、地域活力の低下、税収の減少などが起きます。

昭和45年に過疎地域に指定されて以来、町道や上下水道の整備、宅地分譲などを進め、今議会においては、婚活支援としての出会いの場の創出も行っております。

このような施策により、一定の効果はあるものの、この20年間では約1,500人の減少、年間にして70人強と依然人口減少は続いています。この現状を町長はどのようにとらえ、どのようにお考えですか。

最善をつくす

答弁 過疎地域に指定されて以来、あらゆる施策を行った

中で、人口問題研究所の発表では当町の2040年の推計人口はおよそ2,700人になると予測されました。

しかし、そのギャップを埋めるため最善を尽くし、更なる意欲を持って取り組んでいきます。

まず、安心して子どもを育てていける環境作りに全力を挙げてまいります。また、住宅団地に関しても前向きに検討してまいります。

ターゲットを

しぼって

質問 人口減少問題の中で、自然動態ですが、特に高齢者の皆さんには元気で長生きをさせていただくための福祉の充実、介護予防策に力を入れるべきと考えます。

社会動態については町を離れる方をどう食い止めるか、また、いかにしたら町に入ってきていただけるか。その中で、町を離れる方は子育て世

代、若者世代が多いと考えていますので、その世代にターゲットを絞って意見交換やアンケートを実施し、具体的な施策を検討すべきではないですか。

しっかりと受けとめる

答弁 平成24年度では自然動態ではおよそ90人、社会動態では3人減りました。若い皆さんのご意見も聞かせてもらって、どういう面に対して何を期待されているか、しっかりと受け止めてまいりたいと考えております。

相談支援窓口を

質問 庁舎内に定住促進相談支援窓口を設けてUターン等の相談や支援を行い、定住促進につなげていけるものか伺います。

オールマイティーで

答弁 十分な検討に値しますが、現況からして難しい面もあるので、町三役、課長、職員全てが対策員という気持ちで、相談を受けた時はオールマイティーの姿勢で対応してまいりたいと

考えます。

対策プラン作成を

質問 人口増加に向けた対策プランを作成し具体的に考えていくべきでは。

柔軟に対応する

答弁 住宅団地、子育て関係、アクセスの整備など、町総合計画の中で見直さなければならぬ事もあり、これからの町の課題を見すえ大胆に、柔軟に対応してまいります。



子どもたちの未来のために



原発事故、津波災害等の 対策の状況と今後の計画は

三
輪
正
議員

質問 当町は大地震時には原発事故と津波災害が同時に起こるおそれがあるが、対策の現況と今後の計画を伺います。

**ハードとソフトの
両面で**

答弁 本年3月に地域防災計画原子力対策編を作成いたしました。

現段階では地震、津波、原子力事故などの特定の組合せを想定したのではなく、今後は特定の組合せを想定した対策も必要と思っております。

津波対策では、県の修正想定区域の見直しが行われると聞いております。ハード的には避難路の整備、ソフト的には避難訓練を実施、今後は原子力災害における町独自の防災訓練を実施したい。住民の皆さまのご意見をくみながら安全安心の確保に努めます。

てまいります。

出雲崎中が

モデル校に

答弁 (教育長) 学校では地震津波の避難訓練を実施しておりますが、最近原子力防災教育のモデル校に出雲崎中が指定されました。今後、具体的方法を進めてまいります。

質問 自主防災組織の現況と災害対策での連携と課題について伺います。

自主防災の役割は

大きい

答弁 組織率は世帯数で93.5%です。全力を挙げて100%に努力したい。自立防災組織は災害時には要援護者の避難等、大変大きな役割があります。要援護者名簿も地区で確認をすることが大事である。プライバシーも必要ですが、基本は人の命と考えます。

質問 気象変動により今後日本海での竜巻が多発する予想が出ているが、町の対策について伺います。

竜巻対応マニュアルを

答弁 5月にはアメリカで巨大竜巻によって大きな被害が

発生しました。

発生した場合の連絡、避難方法、場所についてのマニュアルを作成して、周知する必要があります。と思っています。



避難道路の予定地 (諏訪本町)



海拔表示 看板 (稲荷町)

町民の声

健康一番

小木 小田正勝



ゲートボールの仲間と

総合大学受講生で先日、新潟日報社新社屋メディアアシッ
プ（地上20階建・高さ105m・複合型ビル）を見学して来ま

した。
県知事杯第29回ゲートボール中越ブロック予選大会に、いきなチームと小木ノ城Bチームが参加、私は第一試合目に審判の主審を務め、競技には3試合に出場し一日、コート内を走り汗を流し、交流の輪を広げ、楽しい大会でした。

同日午後5時から、八手改善センターで平成25年度長岡地区支会代表選考会祝勝会兼第64回新潟県消防大会操法競技会出場選手壮行会に選手の激励に出席、第4分団第一部（稲川）小型ポンプ操法競技会で1位との得点0.5点差で見事2位に入賞し、来る7月28日（日）上越市において開催されます県大会へ出場、選手は日々訓練に励んでいます。消防団員の皆様には心より敬意を表したいと思います。

私は現在、幾つかの会に所属して、沢山のことを学ぶと共に感謝、信頼の大切さを知りました。保健福祉課の指導で生活改善目標を設定し、毎日のウォーキングに良い汗を流して一生懸命歩いていきます。達者で暮らせること、ほんとうに健康が大切です。

表紙の小話



暑い！暑い夏がやってきました。関東地方から西では毎日猛暑で厳しい暑さが続いています。県内は大雨が不安定で雨降りが続く中、恒例の出雲崎井鼻海水浴場の海開きが7月7日雨の降る天候の中、海の安全や大入りを祈願しました。雨降りもなんのその大人気の海中サザエつかみ取りに花火の合図でわれ先に海へGO、楽しい時間を過ごしました。

井鼻海水浴場の透明度等の水質検査結果は最高レベルのAAです。佐渡、弥彦も見える美しい海水浴場で心も体もリフレッシュしてこの夏を満喫されてはいかがでしょうか。
(加藤修三)

訂正 (第79号)

第2回全員協議会の記事に誤りがありました。
ふれあいの里の入浴時間を延長しているとありますが、正しくは「現在、延長はしておらず、他の方法も含めて検討中です」の間違いでした。お詫び申し上げます。
に、訂正いたします。

編集後記



改選後、初の定例会が6月18日開会。2名の新人議員を迎えて活発な議会となりました。数年にわたり、議員間で準備をしてお

りました「議会基本条例」がスタートいたしました。基本条例には反問権の導入、夜間、土日の議会開催、モニター制度など数々の改革による議会の活性化を進めてまいります。

改革の第1弾として、6月10日の臨時議会では初めて、議場において議長、副議長選挙が、傍聴人の見守る中で所信表明、投票と開票が行われました。県内町村では初めての実施でした。

議会だよりの編集委員は町民の皆さまに「分かりやすく、早く、読むで」もらえる誌面」をモットーに頑張りますのでご指導、ご協力をお願いいたします。(三輪 正)

- 議会報特別委員会
- 委員長 三輪 正
- 副委員長 仙海直樹
- 委員 加藤修三
- 委員 高桑佳子